

平成27年1月22日	
資料提供	
担当課	競技力向上推進課
担当者	植田
電話	073-441-3691



2015 紀の国 わがやま 国体
第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆

2015 紀の国 わがやま 大会
第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆



Team Wakayama News

【第28号：平成27年1月22日発行】

ボウリングの国際大会で亀島選手が準優勝！ ホッケーの全日本選手権大会で箕島クラブが準優勝！

1月14日（水）から18日（日）に東京都で開催された『DHCカップPBAジャパンインビテーショナル2015』で、チーム和歌山の特別強化選手で和歌山大学1年の亀島愛永（かめしままなえ）選手がアメリカのウエス・マロット選手とダブルスを組み、準優勝に輝きました。この大会は、世界最高峰のボウラー組織アメリカプロボウラーズ協会（PBA）とジャパンボウリングプロモーション（JBP）主催の国際トーナメントであり、世界トップレベルの選手が集まる大会での準優勝は、今年の紀の国わかやま国体に向けて、大きな励みとなります。

また昨年末、奈良県で開催された第88回全日本男子ホッケー選手権大会で、「箕島ホッケークラブ」が、決勝戦で3連覇をめざした名古屋フラーテルと対戦し、0-1で惜しくも敗退しましたが、準優勝。今大会は、全日本社会人・全日本学生選手権を勝ち抜いた上位4チームのみが参加できる男子ホッケー日本一のタイトルを争う大会であります。紀の国わかやま国体に向けて今後の活躍が楽しみです！！



ボウリングの国際大会で準優勝した亀島選手



全日本選手権大会で準優勝した箕島ホッケークラブ

【ボウリング競技 和歌山大学1年 亀島愛永選手】

今大会は本当に楽しかったの一言です。最終日(ダブルス決勝)には決勝レーンで投げたのですが、そこではかなり緊張してしまい自分の投球が出来たとは言えないので、そこはこれからの課題かなと思います。ただ、この試合で準優勝出来たというのはこれからの自信にもなると思います。

わかやま国体まで気がつけばあと8ヶ月ほどしかありませんが、本番で自分の努力の成果をしっかりと見せられるよう、精一杯練習して少しでも出来ることを増やしていきたいです。

【ホッケー競技 箕島ホッケークラブ 松尾英雄監督】

前半は緊張もありミスが目立ちましたが、全体的には良いゲームができました。0-1で負けたものの全日本選手が多数在籍するチームと互角に戦えたことは選手の自信になったと思います。わかやま国体では、フラーテルに勝って優勝したいです。

【ホッケー競技 箕島ホッケークラブ 坂本博紀選手】

全日本選手権大会は、交代要員がたくさんいる名古屋フラーテルが優位でした。各種大会で対戦して勝ったことはありませんが、差は確実に縮まっていると思います。

紀の国わかやま国体では優勝して和歌山県総合優勝の力になりたいです。